

第6学年O組 外国語活動学習指導案

平成27年6月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇 印

A L T 〇 〇 〇 〇 印

1 単元 できることを紹介しよう (Lesson 3 I can swim.)

2 単元の目標

- (1) 積極的に友達に「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりしようとする。
- (2) 「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。
- (3) 言語や人、それぞれに違いがあることを知る。

3 学習の計画 (4時間完了)

- 第1時 動作を表す語や「できる」「できない」という表現を知り、言語にはそれぞれに違いがあることに気付く。
- 第2時 動作を表す語や「できる」「できない」という表現に慣れ親しみ、できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現を知る。
- 第3時(本時) できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 第4時 自分ができることを考え、友達と積極的に交流しようとする。

4 本時の学習指導

- (1) 目標
  - できるかどうかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとする。
- (2) 準備・資料
  - 教師……大型テレビ, ノートパソコン, ピクチャーカード, ワークシート
- (3) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項	
			H R T	A L T
復習をする	1 復習をする。 (1) あいさつをする。 ・ Good morning. ・ How are you ? ・ I'm fine. / I'm sleepy. / I'm hungry. (2) Let's Chant (P12) をする。	5	○元気であいさつをして、授業の意欲を高めるようにする。  ○リズムに合わせてチャンツを行う。 ○児童が言いやすいように、テレビを見せながら教師も一緒に言う。 ○質問部分と答えの部分で言う人を分ける。	○個別に数名の児童ともあいさつをする。
つかむ	2 前時までの英語表現を振り返り、復習する。 (1) どんな表現なのか考えながら聞く。 A : Can you play baseball? B : Yes, I can. A : Can you cook? B : No, I can't. (2) ペアで Activity 1 (P10) の 11 種類の動作について、相手ができるかどうかを予想して欄に○△を書く。		○ジェスチャーをつけてA役を行う。 ○ Activity 1 と同じ形式を拡大して、次への活動につながるようにする。  ○空欄には相手に尋ねたいことの絵を描き、予想させる。	○ジェスチャーをつけてB役を行う。

	(3) 本時の学習課題をつかむ。 友達のできることやできないことを予想して、インタビューしよう。	15		
追 究 す る	3 インタビューゲームをする。 (1) 文の練習をする。 Q : Can you play baseball? A : Yes, I can. / No, I can't. (2) ペアでインタビューし合う。	30	○答え方も練習させ 会話のパターンに 慣れさせる。 ○全て No, I can't.で 答えそうな児童に 声かけをし、自信 をもたせる。	○難しそうな単語は 何度か繰り返した り、単語を入れ替 えたりして、練習 させる。 ○会話の弾まない児 童への支援を行う。
深 め る	4 Who am I?クイズをする。 ○学級の誰のことかを当てる。 ・先生の話から誰のことか予測する。 ・次に先生に Can you ~?で尋ね、その 答えから誰のことか当てる。	40	○ワークシートを配 付する。 ○児童と一緒に、ク イズに参加する。 ○ Can you ~? の文 に戸惑っている児 童を支援する。	○ Activity 1 のイン タビュー結果を使 い、ある児童にな りきって、できる ことやできないこ とを I can ~./ I can't ~. で紹介 する。
ま と め る	5 振り返りをする。 (1) 今日の振り返りをする。 ○ワークシートの振り返り部分に記入 する。 (2) 終わりのあいさつをする。	45	○本時の英語表現を もう一度確認し、 次時の予告をす る。	○児童の英語を使お うとする態度で、 良かったところを ほめ、次時の意欲 につなげる。

(4) 本時の評価規準

- 友達に「できること」を進んで尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりしている。  
(表現を使った会話、ワークシート)

5 備 考

(1) 学級の実態

- 児童は外国語活動の時間をとても楽しみにしており、チャンツやゲームなどに積極的に取り組む様子が見られる。しかし、つい日本語を使ってしまったり、ゲームに夢中になってしまったりすることで、英語を使わずに取り組んでしまう児童もいる。

(2) 指導の力点

- 前時に Can you ~?の表現を学習しているので、児童はスムーズに学習に取り組めると思われる。児童が自然に英語を使って活動できるように、チャンツを通して、英語特有のリズムに慣れさせる。また、Who am I?のクイズゲームを通して、英語を楽しんで取り組める雰囲気作りをする。

6 指導と評価